

おわりに

今回の「科学技術研究者のための特許文献検索システムに関する調査研究委員会」は、大学・研究機関等の研究者・学生などが科学技術情報を活用するのと同様に、日常的に特許情報に触れ、各自の研究の独創性・先進性を確認したり、周辺の研究動向を調査したりすることが可能なシステムとその活用の「姿」を議論することを目的としました。

アンケート調査の結果、大学、および研究機関の研究者の40%以上が特許情報の重要性は意識しつつも、特許情報へのアクセスを容易にするインフラ整備が不十分なため、日常的な特許情報の調査を行っていないことが分かりました。この事実は、第3期科学技術基本計画にそって科学技術によるイノベーションの実現を担うセクターとして早急に改善を図るべき事項であることを示しています。幸いなことに、我が国には国際的にトップレベルの特許情報の蓄積があり、同時に、大学や研究機関には科学技術情報を研究者に配信する基本的なインフラは整備されています。したがって、特許情報に関するインフラさえあれば、研究者の間で特許情報の活発な利用が始まるものと考えられます。

その上、参加した委員が提案する「連想検索」、「特許文献の検索・読解支援」、「特許情報の意味構造化」などの技術を活用することで、最先端の特許情報調査の基本的なインフラの構築が可能であることも明らかになりました。勿論、情報インフラの常で、ユーザー・ニーズをフィードバックすることでスパイラル状に性能向上を図る持続的な維持管理体制の整備等、今後やらなければならないことも少なくありません。

知的財産立国の実現に向けて、研究者が本格的なイノベーションのための研究成果を活用することが期待されているこの時機を逸さないように、この報告書を契機に日本の関係者が一丸となって研究者の特許情報の活用促進に取り組むことを期待します。

最後にこの調査研究会を始める動機を与えていただいた上に、委員長としてゴールを目指して調査研究を適切に導いてくださった末松安晴先生（国立情報学研究所顧問）には深く感謝いたします。また、このそれぞれの立場から有益な意見、知識を提供してくださった各委員の皆様方の献身的なご協力に深く感謝申し上げます。また、オブザーバーとして参加し、有益なご意見をいただいた知的財産戦略推進事務局、文部科学省、特許庁の皆様にも深く感謝申し上げます。

清水 勇 川上 溢喜 平岩 正一  
独立行政法人 工業所有権情報・研修館



# 付属資料

調査票

用語集



付属資料（調査票）

科学技術研究者のための特許文献検索システムに関するアンケート

2005年 10月  
独立行政法人  
工業所有権情報・研修館

今般、文部科学省および経済産業省特許庁のご協力の下術研究者のための特許文献検索システムに関する調査事業を実施することとなりました。この調査を行うにあたり、研究者の方々が科学技術論文と同様にどのように特許文献を利用されているかその現状について、また特許文献を検索するためにどのような機能を要望されているか等についてアンケートによる調査をお願いし、皆様から率直なご意見をお聞きしたいと考えております。

つきましては、ご多忙中大変恐縮ですが、研究者の方に直接本アンケートにご記入頂きますようお願い申し上げます。

【回答期限】

平成17年11月11日(金)まで

【回答送付方法】

返信用封筒による返送、またはファクシミリによる送信をお願い致します。

ファクシミリの場合の送信先

【お問い合わせ先】

財団法人日本特許情報機構 情報業務部 検索システムアンケート担当

TEL:

e-mail:

〔本調査研究の事務は(独)工業所有権情報・研修館より(財)日本特許情報機構に委託しています〕

I. 研究者の方に関する情報

Q.1 以下の事項にお答えください。

貴大学・学部/機関名: \_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 学部/ \_\_\_\_\_ 研究所 \_\_\_\_\_  
年齢: 30才未満 30~39才 40~49才 50~59才  
役職: 大学 教授 助教授 助手 その他 [ \_\_\_\_\_ ]  
研究機関 研究部長 グループ/部門長 研究員 その他 [ \_\_\_\_\_ ]

Q.2 最近3年間にどのくらい特許出願をしましたか。

1~5件 6~10件 11件以上

出願していない

出願していない場合、理由は何でしょうか。(複数回答可)

特許出願に興味が無い

時間的余裕が無い

特許出願は手続きが面倒である

特許出願は事前調査が面倒である

特許より論文を重視している

その他 [具体的に: \_\_\_\_\_ ]

Q.3 最近1年間にどのくらい論文を発表されましたか。

1～5件      6～10件      11件以上

発表していない

## II. 特許文献 / 情報の調査に関して

Q.4 これまでにご自身で特許文献 / 情報の調査を行ったことがありますか。

行ったことがある

担当者(知的財産部門、同僚、部下など)が行っている

行ったことがない

「担当者が行っている」または「行ったことがない」場合、その理由は何でしょうか。(複数回答可)

特許文献 / 情報の調査方法がわからない

特許文献 / 情報は調査しづらいと感じている

日々の活動で研究テーマに関連する情報は十分理解している

技術論文の調査で十分だと感じている

時間的余裕が無い

費用がかかる

その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

\* Q.4で「行ったことがない」と回答された方は、Q.12以降へお進み下さい。

Q.5 研究テーマの発掘、選定、研究動向の調査にあたり、ご自身で特許文献 / 情報の調査を行っていますか。

必ず行っている

時々行っている

行っていない

「行っていない」場合、その理由は何でしょうか。(複数回答可)

日々の活動で研究テーマに関連する情報は十分理解している

学术论文の調査で十分だと感じている

特許文献 / 情報は調査しづらいと感じている

特許文献 / 情報の調査方法がわからない

その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

Q.6 特許の出願、審査請求にあたり、ご自身で特許文献 / 情報の調査を行っていますか。

毎回行っている

時々行っている

行っていない

「行っていない」場合、その理由は何でしょうか。(複数回答可)

出願、審査請求する発明は、日々の研究活動で特許になる発明であると理解している

学术论文を調査してあるので、特許になる発明であると理解している

特許文献 / 情報は調査しづらいと感じている

特許文献 / 情報の調査方法がわからない

その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

Q.7 学術論文及び特許文献/情報の調査の際にご自身で使用しているデータベースもしくはサービスは何ですか。  
また、その平均的な利用頻度はどの程度ですか。(複数回答可)

|                                    | 研究1テーマあたりの<br>平均利用頻度 | 特許1件あたりの<br>平均利用頻度 |
|------------------------------------|----------------------|--------------------|
| ア. JOIS または JDream                 | 回/テーマ                | 回/件                |
| イ. 学会が提供する検索システム<br>【サービス名: _____】 | 回/テーマ                | 回/件                |
| ウ. 特許電子図書館(IPDL)                   | 回/テーマ                | 回/件                |
| エ. PATOLIS                         | 回/テーマ                | 回/件                |
| オ. NRI サイバーパテント                    | 回/テーマ                | 回/件                |
| カ. Derwent WPI, Derwent Discovery  | 回/テーマ                | 回/件                |
| キ. STN International               | 回/テーマ                | 回/件                |
| ク. その他                             | 回/テーマ                | 回/件                |
| 【サービス名: _____】                     | 回/テーマ                | 回/件                |

Q.8 Q.7で回答されたデータベースもしくはサービスを使用する理由について、利用頻度の高いサービス順にQ.7の選択肢の記号で指定の上、ご回答ください(3つまで)。

サービス名 [\_\_\_\_](Q.7の選択肢の記号ア~クでご記入ください)  
 検索対象データの範囲が広い、種類が多い  
 検索機能が充実している  
 印刷、表示等の機能が利用しやすい  
 無料もしくは低料金だから  
 その他【具体的に: \_\_\_\_\_】  
 サービスに対して要望する点もしくは問題と思われる点があれば具体的にお書きください。

要望点もしくは問題点:

サービス名 [\_\_\_\_](Q.7の選択肢の記号ア~クでご記入ください)  
 検索対象データの範囲が広い、種類が多い  
 検索機能が充実している  
 印刷、表示等の機能が利用しやすい  
 無料もしくは低料金だから  
 その他【具体的に: \_\_\_\_\_】  
 サービスに対して要望する点もしくは問題と思われる点があれば具体的にお書きください。

要望点もしくは問題点:

サービス名 [\_\_\_\_](Q.7の選択肢の記号ア～クでご記入ください)  
検索対象データの範囲が広い、種類が多い  
検索機能が充実している  
印刷、表示等の機能が利用しやすい  
無料もしくは低料金だから  
その他【具体的に： \_\_\_\_\_】  
サービスに対して要望する点もしくは問題と思われる点があれば具体的にお書きください。

要望点もしくは問題点：

Q.9 特許文献／情報を検索する際にどのような点が問題だと思われますか。(複数回答可)

問題はない  
特許文献／情報の検索の難しさ  
特に、  
IPC 検索、FI、Fターム検索が理解しにくい  
必要な分類(IPC、FI、Fタームなど)が見つげにくい  
用語検索の結果がまちまちである  
なかなか希望する検索結果が得られない  
回答の表示、印刷に手間がかかる  
検索レスポンスが悪い、時間がかかる  
利用に要する費用  
その他【具体的に： \_\_\_\_\_】

Q.10 特許文献／情報を利用する際にどのような点が問題だと思われますか。(複数回答可)

問題はない  
特許文献(公報)の難読性  
特に、  
要約  
特許請求の範囲  
発明の詳細な説明  
特許請求の範囲と発明の詳細な説明との関係(各請求項が解決しようとする課題は何か、など)  
特許文献で使用される用語の特殊性  
その他【具体的に： \_\_\_\_\_】



Q. 11 特許文献 / 情報を読む場合、どの部分を中心に精読されますか。(複数回答可)

出願人、発明者等の書誌的な部分

要約

特許請求の範囲

発明の詳細な説明

技術分野

背景技術

発明が解決しようとする課題

発明の効果

発明を実施するための最良の形態(実施例)

産業上の利用可能性

図面の簡単な説明

図面

### III. 特許文献 / 情報検索システムに関して

以下の設問では、今後の特許文献 / 情報検索システムに要望される点をお聞きます。

Q. 12 必要な文献 / 情報(データ)の種類について(3つまで選択可)

特許・実用新案・意匠・商標の全文献

特許文献のみ

外国の文献

パテントファミリー(一連の特許出願に関する情報)

リーガルステータス(審査経過情報)

特許文献とリンクした論文等の文献

関連する(引用 / 被引用)特許文献等の情報

その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

Q. 13 必要な情報(データ)の範囲について

現存する全文献

過去20年以内の(特許として権利期間がある)文献

その他【具体的(例えば19XX年以降など)に: \_\_\_\_\_】

Q. 14 必要な情報検索等の機能について(4つまで選択可)

全文フルテキスト検索機能

文献中の領域(例えば、フロントページ、要約部分等)を特定したテキスト検索機能

同義語・類義語をカバーする類似検索機能

キーワードやシソーラスを活用した検索機能

IPC(国際特許分類)やFターム(機械検食用多観点ツール)などの分類検索機能

IPCやFタームなどを知らなくてもそれらに基づく分類が使える検索機能

発明者名、出願人名、番号、日付などの書誌事項検索機能

特許請求の範囲の構造(複数個の請求項の間での構成要素の共有など)を明示する機能

特許請求の範囲と発明の詳細な説明との対応関係(各請求項の目的など)を明示する機能

その他、特許情報を利用する際に必要と思われる情報処理機能について自由にお書き下さい。

Q.15 必要な操作性について (3つまで選択可)

ストレスを感じさせない検索速度および表示速度

回答結果の文献中で検索に使用した用語を反転表示する機能

回答結果、表示文献の自由な編集機能

回答の一括印刷機能、ダウンロード機能

回答の保存機能

日本語 英語の機械翻訳機能

その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

IV. その他、今後の特許文献/情報検索システムに要望される点があれば具体的にお書きください。

ご協力ありがとうございました

付属資料(用語集)

| 用語        | 読み                | 意味  | 出所                         | 出所 URL  |
|-----------|-------------------|---|----------------------------|---|
| アイコン      | アイコン              | icon。「icon」は「図像」という意味で、ウィンドウシステムなどの GUI 環境において、さまざまなオブジェクトを示すのに利用される小さなビットマップ。典型的なアイコンの役割は、実世界にあるオブジェクトのミニチュアを GUI 環境で表現することである。たとえばプリンタを示すアイコンの上に文書をドラッグ&ドロップすると、文書が印刷されるなどである。                                      | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)    | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| ID        | アイディー             | Identification の略。識別記号のこと。一般にはネットワークユーザーの識別に利用されるものを指す。パソコン通信では、アクセスするユーザーを識別するために数字やアルファベットなどを組み合わせた ID が使われる。その他、SCSI 機器の識別に使われる「SCSI ID」や Mac OS のフォントがもつフォント ID がある。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)    | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| IDF       | アイディエフ            | Inverse Document Frequency(文書頻度の逆数) TFIDF   |                            |   |
| IP アドレス認証 | アイビーアドレスニショウ      | インターネットによるサービスで利用者のアドレス(IP アドレス)を認識することにより利用者を識別する機能  |                            |   |
| IPA       | アイビーイー            | Information-Technology Promotion Agency, Japan. 独立行政法人情報処理推進機構  | 独立行政法人情報処理推進機構ホームページ       | <a href="http://www.ipa.go.jp/">http://www.ipa.go.jp/</a>   |
| IPC       | アイピーシー            | 国際特許分類  |                            |   |
| IPDL 専用端末 | アイビーディーエルセンヨウタンマツ | 特許電子図書館情報検索システム(IPDL 専用端末)は、高精細な表示機能を有する専用端末を、IPDL のサーバ群(データベース及び検索用システム)と専用回線で接続することにより、通常のインターネット向け IPDL サービスよりも、さらに高次の検索機能や表示・印刷機能を提供する IPDL の情報検索サービスです。  | 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ    | <a href="http://www.ncipi.go.jp/data/koho/ipdl/index.html">http://www.ncipi.go.jp/data/koho/ipdl/index.html</a> |
| アプリケーション  | アプリケーション          | ワープロや表計算、データベースなどコンピュータを使って、文書や表、データベースを作るなど、それぞれの目的を実現するためのソフトのこと。アプリケーション・ソフトウェアというのを略した言い方。また、さらに略されて「アプリ」と略されて呼ばれることも多い。パソコンの基本的な機能を実現する基本ソフト「OS」や周辺機器を制御するソフト「ドライバ」、パソコンの細かな設定を変更する「ユーティリティ」などとアプリケーションは区別されている。 | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)    | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| アルゴリズム    | アルゴリズム            | コンピュータを使ってある特定の目的を達成するための処理手順。アルゴリズムをプログラミング言語を用いて具体的に記述したものをプログラムという。  | IT 用語辞典 e-Words(株式会社インセプト) | <a href="http://e-word.s.jp/">http://e-word.s.jp/</a>   |

| 用語       | 読み          | 意味  | 出所                         | 出所 URL  |
|----------|-------------|---|----------------------------|---|
| eラーニング   | イーラーニング     | パソコンやコンピュータネットワークなどを利用して教育を行なうこと。教室で学習を行なう場合と比べて、遠隔地にも教育を提供できる点や、コンピュータならではの教材が利用できる点などが特徴。一方で、機材の操作方法など、実物に触れる体験が重要となるような学習はeラーニングには向かない。eラーニングは企業の社内研修で用いられているほか、英会話学校などがインターネットを通じて教育サービスを提供している例などがある。Web ブラウザなどのインターネット・WWW 技術を使うものを特に「WBT」(Web Based Training)とか「Web ラーニング」などと呼ぶ。   | IT 用語辞典 e-Words(株式会社インセプト) | <a href="http://e-word.s.jp/">http://e-word.s.jp/</a>             |
| 一括印刷機能   | イックツインサツキノウ | 検索した結果をまとめて印刷できる機能  |                            |   |
| 異表記展開    | イヒョウキテンカイ   | 入力されたワードをキーワードなどの統制語に導くために使われる手法または辞書   |                            |   |
| インスタンス   | インスタンス      | instance。オブジェクト指向言語で実行時に作成されるオブジェクトの実体  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)    | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a> |
| インターフェイス | インターフェイス    | (1)ハードウェアを接続するときの規格のこと。RS-232C や SCSI など。<br>(2)ソフトウェア間で相手のルーチンを呼び出すための規約。システムがアプリケーションプログラムに提供するインターフェイスは API(Application Programming Interface)と呼ばれる。<br>(3)ソフトウェアやハードウェアの機能のうち、ユーザーの操作を受け付けたり、そのフィードバックを返したりする部分。ヒューマンインターフェイス、ユーザーインターフェイス、マンマシンインターフェイスなどとも呼ばれる。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)    | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a> |
| インデックス検索 | インデックスケンサク  | データに含まれる要素(文書なら単語など)によって情報を再構成し、特定の要素からそれが含まれる元のデータを高速に検索できるようにする方法   |                            |   |
| INPADOC  | インパドック      | International Patent Documentation Center, 現在のEPOウィーン支局に相当  |                            |   |
| 引用文献     | インヨウブンケン    | 特許庁の審査で拒絶理由等に引用された文献  |                            |   |
| Web      | ウェブ         | インターネットやイントラネットで標準的に用いられるドキュメントシステム。欧州核物理学研究所(CERN)の Tim Berners-Lee 氏が所内の論文閲覧システムとして 1989 年に考案したものを基礎としている。広く一般に公開されたのは 1991 年のこと。HTML という言語で文書の論理構造や見栄えを記述し、文書の中に画像や音声など文字以外のデータや、他の文書の位置(ハイパーリンク)を埋め込むことができる。インターネット標準のドキュメントシステムとして 1990 年代中頃から爆発的に普及し、現在では世界規模での巨大な WWW 網が築かれている。インターネットで最も多く利用されるアプリケーションである。WWW で用いられる技術については W3C が標準化にあたっている。 | IT 用語辞典 e-Words(株式会社インセプト) | <a href="http://e-word.s.jp/">http://e-word.s.jp/</a>             |

| 用語                | 読み               | 意味  | 出所                                 | 出所 URL  |
|-------------------|------------------|---|------------------------------------|---|
| Webcat Plus       | ウェブキャットプラス       | Webcat Plus は、国立情報学研究所(NII)が提供する GeNii(ジーニイ):NII 学術コンテンツ・ポータルを構成するサービスのひとつです。大量の情報の中から、人間の思考方法に近い検索技術「連想検索機能」を使って、必要な図書を効率的に探すことができるシステムが、この Webcat Plus です。  | Webcat Plus ホームページ(国立情報学研究所)       | <a href="http://webcat.plus.nii.ac.jp/">http://webcat.plus.nii.ac.jp/</a>                   |
| HP                | エイチピー            | homepage, Internet の WWW サービスにおいて、あるサイトあるいはひとまとまりのコンテンツを代表する Web ページ。通常はそのサイトのトップページやコンテンツの目次ページがホームページになる。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)            | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                           |
| AIST              | エーアイエスティー        | National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 独立行政法人産業技術総合研究所   | 独立行政法人産業技術総合研究所 ホームページ             | <a href="http://www.aist.go.jp/index_ja.html">http://www.aist.go.jp/index_ja.html</a>       |
| ECLA              | エクラ              | European Classification, 国際特許分類を細展開した E P O 内部分類。日本国特許庁の FI に相当するもので、国際特許分類にアルファベット大文字と数字が付加されている。  | 特許実務用語英和辞典 電子版(特許庁技術懇話会)           | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a> |
| STN International | エスティーエヌインターナショナル | STN International は、日本・米国・ドイツを繋ぐ科学技術情報のオンラインネットワークシステムです。STN は、一国一機関によるサービスではなく、国際協力により日本・米国・ドイツを専用回線でネットワーク化し、安価で良質な情報を提供します。データベースは、各センターに分散して置かれていますが、日本の利用者は STN 東京サービスセンターにアクセスすることで、これらのデータベースを自由に検索できます。 | 独立行政法人科学技術振興機構ホームページ               | <a href="http://pr.jstgo.jp/db/db.html#dream">http://pr.jstgo.jp/db/db.html#dream</a>       |
| NRI サイバーパテント      | エヌアールアイサイバーパテント  | エヌ・アール・アイ・サイバーパテント株式会社  | NRI サイバーパテントホームページ                 | <a href="http://www.patent.ne.jp/">http://www.patent.ne.jp/</a>                             |
| NRI サイバーパテントデスク   | エヌアールアイサイバーパテント  | 「NRI サイバーパテントデスク」は NRI サイバーパテント(株)が提供する特許情報サービスです。特許庁発行の公報や、海外の特許情報(米国特許・欧州特許・国際公開)、企業発行の技報等の有用な技術情報をインターネットを通じてご利用いただけます。本サービスは会員制の有料サービスのため、ご利用に際して会員登録が必要となります。ご利用の検討の際には無料 ID にご登録いただくことで、デモ版を体験いただけます。     | NRI サイバーパテントホームページ                 | <a href="http://www.patent.ne.jp/">http://www.patent.ne.jp/</a>                             |
| NII               | エヌアイアイ           | National Institute of Informatics, 国立情報学研究所   | 国立情報学研究所ホームページ                     | <a href="http://www.nii.ac.jp/index-j.html">http://www.nii.ac.jp/index-j.html</a>           |
| N グラム方式           | エヌグラムハウシキ        | 全文検索の検索方法の一つ。入力されたテキストを N 文字ごとに区切り、各文字列が含まれる該当する文書の情報と文字列の位置情報によるインデックスを作成。このインデックスを検索し、文字列間の位置関係をチェックして該当する文書を抽出する方式。  | 「全文検索システムとは何か？」2000年版(全文検索システム協議会) |   |

| 用語         | 読み               | 意味  | 出所                             | 出所 URL  |
|------------|------------------|---|--------------------------------|---|
| NCIPI      | エヌシーアイピー<br>アイ   | National Center for Industrial Property Information and Training, 独立行政法人工業所有権情報・研修館   | 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ        | <a href="http://www.ncipi.go.jp/">http://www.ncipi.go.jp/</a>   |
| NTCIR      | エヌティサイクル         | NII-NACSIS Test Collection for IR Systems, 国立情報学研究所の情報検索システム評価用テストコレクション構築プロジェクト  | 国立情報学研究所<br>NTCIR ホームページ       | <a href="http://research.nii.ac.jp/ntcir/index-ja.html">http://research.nii.ac.jp/ntcir/index-ja.html</a> |
| FI         | エフアイ             | File Index, 庁内のサーチファイルの編成に用いられている分類, 国際特許分類を基に作成された。  | 特許実務用語英和辞典<br>電子版(特許庁技術懇話会)    | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>               |
| Fターム       | エフターム            | F-term(File forming term), 特許文献を機械検索するため, 多観点から作られた技術的ターム, 特許文献に付与して用いられる。  | 特許実務用語英和辞典<br>電子版(特許庁技術懇話会)    | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>               |
| 横断検索機能     | オウダンケンサクキノウ      | 特定の言語による検索タームを他の言語に翻訳して検索する機能   |                                |   |
| オーサリング     | オーサリング           | authoring, 文字や画像, 音声などのいろいろな素材を組み合わせてソフトウェアを作成すること, またはそのための支援ツール, オーサリングシステム(authoring system)ともいう。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)        | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| オントロジ      | オントロジ            | セマンティックコンピューティング  |                                |   |
| 解析・可視化ツール  | カイセキカシカツール       | 検索回答から得られたデータを解析し, 数値データとして与えられた物体や図形に関する情報を計算によって画像化するツール  |                                |   |
| 回答保存機能     | カイトウホゾンキノウ       | 検索した結果を保存する機能   |                                |   |
| 学術情報ネットワーク | ガクジュツジョウハウネットワーク | 学術情報ネットワーク(SINET)は, 日本全国の大学, 研究機関等の学術情報基盤として構築・運用されている情報ネットワークです。<br>全国にノード(ネットワーク接続拠点)を設置し, 大学, 研究機関等に対して先進的なネットワーク環境を提供しています。また, 国際的な先端研究プロジェクトで必要とされる国際間の研究情報流通を円滑に進められるように, 米国のAbileneや欧州のGEANTをはじめ多くの海外研究ネットワークと相互接続しています。 | SINET 学術ネットワークホームページ(国立情報学研究所) | <a href="http://www.sinet.ad.jp/">http://www.sinet.ad.jp/</a>   |
| キーワード検索    | キーワードケンサク        | retrieval by keyword, データベースなどを検索する際に, 各項目に対してあらかじめ設定されたキーワードを元に検索を行なうこと, またはそれを実現するための機能, これに対し, あらかじめ設定された特定のキーワードだけでなく, データ内に含まれるすべての文字列から検索する方法はフルテキスト検索と呼ばれる。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)        | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| 逆接         | ギャクセツ            | ある条件に対して予期される結果の現れないことを示す表現形式, 条件と結果との間に食い違いのあることを示すもの。「二時間待った。しかし, 彼は来なかった」「努力したが, だめだった」の類, 普通, 接続詞・接続助詞を用いて表現する, 逆態接続。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)             | <a href="http://dictionary.www.infosseek.co.jp/">http://dictionary.www.infosseek.co.jp/</a>               |

| 用語              | 読み        | 意味  | 出所                        | 出所 URL  |
|-----------------|-----------|---|---------------------------|---|
| Google          | グーグル      | 従来の「ロボット型検索」の常識を覆す高精度な検索結果が実現された検索技術、およびそのサイト。ヤフーのディレクトリ検索エンジンに採用され、注目を集めるようになった。同サービスは <a href="http://www.google.com/">http://www.google.com/</a> から、英語のほかヨーロッパ各国語や日本語などで利用できる。これまでのロボット型検索エンジンは、世界中の Web ページを網羅的に調査し、収集した情報をデータベース化する技術が基盤になっている。この手法は、言うようにして情報を集めるという様から「crawl(クロール)」と呼ばれているが、世界の Web ページが爆発的に増加し、10 億を超えたといわれる現在、この手法では技術的に情報の精度を保つのが困難になっている。Google の検索エンジンには、「PageRank」と呼ばれる、従来とは異なる技術が採用されている。具体的には、ページに張られたリンク構造を解析し、リンクによって参照されている度合いが多いほどそのページが重要であると決定するアルゴリズムになっている。この方法であれば、検索対象のページ数が増えれば増えるほど結果の精度が上がり、ユーザーは必要な情報にたどり着きやすくなる。従来のロボット型検索技術を提供する企業としてはインクコムが有名だが、同社はウルトラシークを買収するなど、検索ソリューションをエンタープライズ(大企業)市場にシフトし始めており、このことからエンドユーザー向けの検索技術に限界を感じていることが伺える。今後は、Google のような新しいアルゴリズムによる検索技術が主流になると思われる。 | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)   | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a> |
| Google の「もしかして」 | グーグルノシカシテ | Google でタイプミスと思われる検索語を入力すると、自動的に正しい用語を表示してくれる機能   |                           |   |
| クレーム            | クレーム      | 特許請求の範囲   |                           |   |
| GETA            | ゲタ        | Generic Engine for Transposable Association。汎用連想計算エンジン(GETA)は、文書検索における頻度付き索引データ(どの文書にどの単語が何回出現するというような)を典型とする大規模かつ粗な行列を対象として、行と行あるいは列と列(具体的には文書間および単語間)の類似度を内積型メジャーで高速計算するツールです。連想検索をはじめ、文書分類、単語間類似度計算など、大規模文書の分析に必要な要素技術をサポートすることを目的としています。  | GETA のホームページ(国立情報学研究所)    | <a href="http://geta.ex.nii.ac.jp/">http://geta.ex.nii.ac.jp/</a> |
| 検索エンジン(サーチエンジン) | ケンサクエンジン  | インターネットで公開されている情報をキーワードなどを使って検索できる Web サイトのこと。サーチエンジンはページに掲載する企業の広告料金で運営されるため、利用するために料金を払う必要はない。サーチエンジンは、WWWなどで公開されている情報の全文を貯えておき、キーワードによって検索する全文検索型と、カテゴリー別に分類されているディレクトリ型の2種類に大別できる。最近では全文検索型でもディレクトリ型の情報提供をしているところが増え、またディレクトリ型のサーチエンジンにも検索機能が搭載されるようになってきた。日本のサーチエンジンは、全文検索型では Google や goo 等が有名で、ディレクトリ型では Yahoo! JAPAN が有名。   | IT用語辞典 e-Words(株式会社インセプト) | <a href="http://e-words.jp/">http://e-words.jp/</a>               |

| 用語      | 読み               | 意味   | 出所                            | 出所 URL  |
|---------|------------------|--|-------------------------------|---|
| 検索ツール   | ケンサクツール          | 検索するためのツール。 ツール  |                               |   |
| 公開技報    | コウカイギホウ          | 各企業において研究開発され、早期公開された技術を掲載した文献。研究開発や出願の重複及び他企業による技術の権利化防止を目的とする。発明協会が発行する。分類が付与された後、特許庁の総合資料データベースに入力される。  | 特許実務用語英和辞典 電子版(特許庁技術懇話会)      | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>           |
| 工業所有権情報 | コウギョウシヨウケンジョウホウ  | 工業所有権情報は、最新の技術情報であると同時に、権利の範囲を示す権利情報でもあり、その利用の促進は、重複する研究開発の防止、既存技術を活用した研究開発の推進、権利侵害の防止などを図る上で重要です。情報・研修館では、こうした工業所有権情報を様々な形で提供していきます。  | 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ       | <a href="http://www.ncipi.go.jp/">http://www.ncipi.go.jp/</a>   |
| 公知      | コウチ              | 不特定の者に秘密でないものとしてその内容が知られること。特許出願前に公知の発明は、新規性を有しないため、特許を受けることができない。   | 特許実務用語英和辞典 電子版(特許庁技術懇話会)      | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>           |
| 高度専門職業人 | コウドセンモンシヨクギョウニン  | 高度で専門的な職業能力を有する人材  |                               |   |
| 公報閲覧室   | コウホウエツランシツ       | 特許庁が発行した公報を自由に閲覧可能な施設。独立行政法人工業所有権情報・研修館をはじめ、全国に9箇所の公報閲覧室がある。   | 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ       | <a href="http://www.ncipi.go.jp/data/koho/index.html">http://www.ncipi.go.jp/data/koho/index.html</a> |
| 公報閲覧所   | コウホウエツランジョ       | 公報閲覧室  |                               |   |
| 国際特許分類  | コクサイトクキョブunルイ    | ”国際特許分類”とは、特許出願された発明を分類するため国際的に統一された分類であり、特許公報などの文献に表示される。International Patent Classificationの頭文字をとってIPCとも呼ばれる。特許分類により、特許文献(公開公報、特許掲載公報など)の調査が容易になることから、多くの国が古くより特許分類を採用している。しかし、各国が固有の分類を採用しており統一性がないことから、ストラスブール条約によって、国際的に統一された分類が採用された。IPCを採用する国は、約50カ国である(日本も採用している)。IPCは、セクション、クラス、サブクラス、グループによって構成される。セクションが最も大きな分類であり、A～Hに分けられている。これらの各セクションは、クラスに分けられ、各クラスはサブクラス、さらにグループに分けられている。 | 知的財産用語辞典ホームページ(古谷榮男・松下正・真島宏明) | <a href="http://www.furutani.co.jp/index.html">http://www.furutani.co.jp/index.html</a>               |
| 固定料金制度  | コテイリョウキンセイド      | 利用の多少にかかわらず単位時間あたり(月額など)の使用料金が一定である制度  |                               |   |
| コンテンツ   | コンテンツ            | contents, 「contents」は「内容」の意味で、コンピュータ関連では、情報サービスの内容を指す。具体的には、CD-ROM タイトル、商用BBSなどの情報サービス、WWWによる情報サービスなどを指す場合が多い。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)       | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                                     |
| 産業財産権情報 | サンギョウザイサンケンジョウホウ | 工業所有権情報  |                               |   |



| 用語         | 読み             | 意味  | 出所                            | 出所 URL  |
|------------|----------------|---|-------------------------------|---|
| CSV        | シーエスバイ         | Comma Separated Values. データベースソフトや表計算ソフトのデータをファイルとして保存するフォーマットのひとつで、主にアプリケーション間のファイルのやり取りに使われる。それぞれの値がカンマで区切られている。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)       | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |
| シームレス      | シームレス          | 縫い目・継ぎ目のないこと。<br>「 -ストックング」   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)            | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| JST        | ジェイエスティー       | Japan Science and Technology Agency. 独立行政法人科学技術振興機構   | 独立行政法人科学技術振興機構ホームページ          | <a href="http://www.jst.go.jp/">http://www.jst.go.jp/</a>                                 |
| JDream     | ジェイドリーム        | JST Document REtrieval system for Academic and Medical fields. 国公立試験研究機関や大学、専門学校等の学術機関と、病院等医療機関を対象としてスタートした、便利で簡単な文献検索システムです。現在は、医療情報を含め、科学技術情報を必要とする企業の方にもお使いいただけます。 | 独立行政法人科学技術振興機構ホームページ          | <a href="http://pr.jst.go.jp/db/db.html#dream">http://pr.jst.go.jp/db/db.html#dream</a>   |
| ジェブソン型クレーム | ジェブソンガククレーム    | 最初に従来技術または上位概念を述べた前提部分を記載し、その後発明の特徴部分を記載するクレーム  | 米国特許実務用語辞典(社団法人日本国際工業所有権保護協会) |   |
| 自然言語       | シゼンゲンゴ         | 社会の中で自然に発生し、自然に用いられている言語。人為的に規定された人工言語に対していう語   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)            | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| 試行錯誤       | シコウサクゴ         | (1)新しい物事をする際、試みと失敗を繰り返しながら次第に見通しを立て、解決策を見いだしていくこと。<br>「 を重ねる」<br>(2)〔心〕(trial and error)新しい学習を行う際、初めは盲目的な種々の反応が生じるが、偶然に成功した反応が以後繰り返され、次第に無駄な反応を排除してゆくこと。              | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)            | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| シソーラス      | シソーラス          | thesaurus. 類義語 / 反意語などを集めた辞典。ワードプロセッサにおける英文サポート機能として、このシソーラスが提供されることがある。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)       | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |
| JAPIO      | ジャピオ           | Japan Patent Information Organization. 財団法人日本特許情報機構   | 財団法人日本特許情報機構ホームページ            | <a href="http://www.japio.or.jp/index.html">http://www.japio.or.jp/index.html</a>         |
| 従量料金制度     | ジュウリョウリョウキンセイド | 検索回数や検索回答の参照・印刷・ダウンロード件数などに応じて使用料金が変動する制度   |                               |   |
| JOIS       | ジョイス           | JST On-line Information System. JOIS は、科学技術に関する文献や研究テーマ情報などを欲しいとお考えの貴方が、直接データベースにアクセスして、2,000 万件を越すデータの中から、直ちに必要な情報の所在を探し出すサービスです。                                    | 独立行政法人科学技術振興機構ホームページ          | <a href="http://pr.jst.go.jp/db/db.html#dream">http://pr.jst.go.jp/db/db.html#dream</a>   |

| 用語                           | 読み              | 意味  | 出所                         | 出所 URL  |
|------------------------------|-----------------|---|----------------------------|---|
| 新規性                          | シンキセイ           | 新規性は特許要件の一つである。次に掲げる発明を除き、特許を受けることができる。(1)特許出願前に日本国内又は外国において公然知られた発明。(2)特許出願前に日本国内又は外国において公然実施をされた発明。(3)特許出願前に日本国内又は外国において、頒布された刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明。但し、出願日が平成11年12月31日以前の出願については、(1)は「特許出願前に日本国内において公然知られた発明」、(2)は「特許出願前に日本国内において公然実施をされた発明」、(3)は「特許出願前に日本国内又は外国において、頒布された刊行物に記載された発明」となる。なお、意匠については、意匠法第3条第1項に同様の規定がある。                               | 特許実務用語英和辞典 電子版(特許庁技術懇話会)   | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>   |
| 審査経過情報                       | シンサケイカジョウホウ     | 特許庁と出願人の中でやりとりされる事務処理の情報  |                            |   |
| 審査請求                         | シンサセイキュウ        | 特許出願されたものは、全てが審査されるわけではなく、出願人又は第三者が審査請求料を払って出願審査の請求があったものだけが審査されます。審査請求は、出願から3年以内であれば、いつでも誰でもすることができます  | 特許庁ホームページ                  | <a href="http://www.jpo.go.jp/indexj.htm">http://www.jpo.go.jp/indexj.htm</a>   |
| 推論                           | スイロン            | ある事実をもとにして、他の事をおしはかること。推理や推定を重ねて結論を導くこと。<br>「調査結果から事故原因を する」  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)         | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>   |
| 請求項                          | セイキュウコウ         | 特許請求の範囲の中の発明毎の項(通常は複数項あり)   | 産業財産権標準テキスト特許編(社団法人発明協会)   |   |
| セマンティックコンピューティング(セマンティックWeb) | セマンテックコンピューティング | セマンティック Web は、膨大な Web ページの中から、ユーザーが求めている情報を探し出しやすくするために、検索性能の向上や利便性を高める次世代 Web 技術だ。Web サイトを記述している HTML は、コンテンツ(情報内容)を表示するための言語だが、これとは別に、コンピュータがページに記述されている情報の意味を解釈するための「メタデータ(意味付けされた情報)」を付加することで、これまでは Web の性質上、困難であった情報の検索を飛躍的に高めるのがセマンティック Web である。セマンティック Web は、「メタデータ」と「オントロジー」という2つの技術をキーにしている。メタデータとは、前述の通り「ページの内容を説明する付加情報」を指し、オントロジーとは「メタデータを記述する用語の定義」を指している。 | キーマンズ ネットホームページ(株式会社リクルート) | <a href="http://www.heyman.or.jp/cgi-bin/navi/30000872/A3434C/00001100/0/00001100/oMwSY8vu3/">http://www.heyman.or.jp/cgi-bin/navi/30000872/A3434C/00001100/0/00001100/oMwSY8vu3/</a> |
| 先行技術                         | センコウギジュツ        | 特許出願より先に公知となった技術、公知技術   | 産業財産権標準テキスト特許編(社団法人発明協会)   |   |

| 用語           | 読み                  | 意味   | 出所                                     | 出所 URL  |
|--------------|---------------------|--|--|---|
| Derwent WPI  | ダーウェントダブリュービーアイ     | 世界40 特許発行機関から発行される各国言語で書かれた特許明細書を英語に標準化し、350 名以上の各分野における専門家が分かり易くタイトル、抄録を作成し、さらにダウエントコードを付与した特許データベースが Derwent World Patents Index®(Derwent WPI) です。1963 年からの2,200 万件を超える特許(対応特許を含む)を収録しており、年に 82 回以上アップデートされています。 | トムソンサイエンティフィックホームページ(トムソンコーポレーション株式会社) | <a href="http://www.thomsonscientific.jp/products/dwpi/index.shtml">http://www.thomsonscientific.jp/products/dwpi/index.shtml</a>             |
| ダウンロード       | ダウンロード              | download. ネットワーク上で公開されたファイルを、ローカルのコンピュータに転送すること。( アップロード)  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)                | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| チェーン         | チェーン                | (1)鎖(くさり)。<br>(2)積雪時、スリップを防ぐ目的で自動車のタイヤに巻きつける金属の鎖。<br>(3)自転車やオートバイなどで、動力を駆動輪に伝えるための鎖の輪。<br>(4)同一資本のもとにある、ホテル・小売店・映画館などの系列。<br>(5)ヤード・ポンド法の長さの単位。22 ヤード(約 20.12 メートル)をいう。  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)                     | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>   |
| 知的財産推進計画2005 | チテキザイサンスイシンケイカク2005 | 知的財産戦略本部(内閣府)が2005年6月10日に発表した計画  | 首相官邸ホームページ                             | <a href="http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/050610.html#0-4">http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/050610.html#0-4</a> |
| 地方閲覧室        | チホウエツランシツ           | 公報閲覧室  |  |   |
| ツール          | ツール                 | 特定の作業をするために専用の道具となるソフトウェア、またソフトウェアの一部。たとえばワープロソフトの Microsoft Word では、画面上部のツールバーに、「センタリング」「アンダーライン」などのアイコンが並んでいる。また、グラフィック系のソフトウェアでは、矢印の形をした「選択ツール」や四角形、円などの図形を書くためのツールがある。ツールがまとまっているウィンドウはツールパレットなどと呼ばれる。         | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)                | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |
| ツリー構造        | ツリーコウゾウ             | tree structure. 枝分かれをした階層構造のこと。たとえばフォルダとフォルダの関係やフォルダの中のファイルの関係   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)                | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>   |

| 用語        | 読み            | 意味   | 出所   | 出所 URL  |
|-----------|---------------|--|--|---|
| TLO       | ティーエルオー       | Technology Licensing Organization。大学が所有する実用化が期待される研究成果の企業に対する技術移転を促進するために設立された機関を言います。具体的なTLOの機能としては、"発明シーズの発掘"、"特許出願・権利化および維持管理"、"特許のライセンスング、実施料の取得、発明者への費用の還流"などが挙げられます。TLOの事業計画は、大学等技術移転促進法に基づき承認あるいは認定がなされており、文部科学省及び経済産業省の承認を受けた承認TLOと、申請者を所する省(国立大学は文部科学省、(独)産業技術総合研究所は経済産業省)による認定を受けた認定TLOの2種類があります。慶應義塾大学知的資産センターは、1998年11月に文部科学省及び経済産業省の承認を受け承認TLOとして設立されました。 | 慶應義塾大学知的資産センター:特許知識:特許用語解説(学校法人慶應義塾)                 | <a href="http://www.ipc.keio.ac.jp/knowledge/index.html">http://www.ipc.keio.ac.jp/knowledge/index.html</a> |
| TF        | ティエフ          | Term Frequency (語彙頻度) TFIDF  |  |   |
| TFIDF     | ティエフアイディエフ    | TFIDF 法は、語の出現頻度にもとづいてキーワードを重みづける方法である。TFIDF は TF と IDF に分かれる。TF は Term Frequency (語彙頻度) であり、IDF は Inverse Document Frequency (文書頻度の逆数) である。TFIDF は TF と IDF の積をあらわす。   |  |   |
| テキストデータ   | テキストデータ       | 人間が読み書きする文字で構成されたデータ   |  |   |
| Dual NAVI | デュアルナビ        | DualNAVI は対話性を重視した検索インターフェースで、ユーザーが検索結果の概要を把握しながら、色々とフィードバックを掛けられるようにし、より見通しよく目的地に近づけることを目指してデザインされています。   | DualNAVI (for BACE)のご案内ホームページ(東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター) | <a href="http://bace.hgc.jp/dn_intro/index-j.html">http://bace.hgc.jp/dn_intro/index-j.html</a>             |
| 同義語       | ドウギゴ          | 発音や表記は異なるが、意味の同じである語。「あす・あした・明日(みょうにち)」「登山・山登り」「ピンポン・卓球」などの類。同意語、シノニム。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)                                   | <a href="http://dictionary.www.infosseek.co.jp/">http://dictionary.www.infosseek.co.jp/</a>                 |
| 統制語       | トウセイゴ         | 統制語とは表現が多数あるものや表記のゆれを統制した語のこと。例えば、アルコール中毒に関する文献を検索するには「アルコール中毒」ではなく「アルコール症」という用語を使用する、といった約束ごとに基づいて使用されているキーワードのこと。統制語を用いて検索する際には、シソーラスなどのキーワード集が必要。   | Netmaster 情報交信サイト(株式会社ネットマスター)                       | <a href="http://netmaster.co.jp/">http://netmaster.co.jp/</a>   |
| DocuPat   | ドキュバット        | DocuPat プライベートサーバーサービスは、お客様固有の情報は専用のプライベートサーバーに、日米 1,800 万件の特許データと新たに追加された 2,000 万件の科学技術文献データは共有サーバーに搭載し、操作性の高い機能と充実したデータをネットワーク経由で利用することができます。また、煩雑なシステムの保守・運用などは富士ゼロックスが担当しますので、お客様は本来の特許業務に集中することができます  | 富士ゼロックスホームページ(富士ゼロックス株式会社)                           | <a href="http://www.fujixerox.co.jp/product/docupat/">http://www.fujixerox.co.jp/product/docupat/</a>       |
| 特許請求の範囲   | トッキョセイキュウノハンイ | 特許権を主張したい技術的な範囲  | 産業財産権標準テキスト特許編(社団法人発明協会)                             |   |

| 用語          | 読み                  | 意味  | 出所                               | 出所 URL  |
|-------------|---------------------|---|----------------------------------|---|
| 特許電子図書館     | トッキョデシト<br>ショカン     | 情報・研修館は、インターネットを利用して工業所有権情報を閲覧できる「特許電子図書館(IPDL:Industrial Property Digital Library)」サービスを提供しています。特許電子図書館では、明治以来発行されている5,400万件の特許・実用新案・意匠・商標の公報類及び関連情報とその検索システムを提供しています。 | 独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページ          | <a href="http://www.nicip.go.jp/info/ipdl/index.html">http://www.nicip.go.jp/info/ipdl/index.html</a> |
| 特許分類        | トッキョブンレイ            | 国際特許分類  |                                  |   |
| トライ・アンド・エラー | トライアンドエラー           | 試行錯誤  |                                  |   |
| 二次情報        | ニジジョウホウ             | オリジナル情報(一次情報)から抽出もしくは加工して得られる情報。主に検索用に用いられる。  |                                  |   |
| NEDO        | ネド                  | New Energy and Industrial Technology Development Organization, 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  | 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構ホームページ    | <a href="http://www.nedo.go.jp/">http://www.nedo.go.jp/</a>   |
| ノイズ         | ノイズ                 | (1)騒音。雑音。<br>(2)情報理論などで、信号の性質・内容に影響を与えるおそれのあるデータの乱れ。<br>(3)まざり込んだ無関係なデータ。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)               | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>             |
| ノード         | ノード                 | node, ネットワークに接続されている端末やネットワーク機器のこと。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)          | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                                     |
| ハイライト機能     | ハイライトキノウ            | テキスト検索などの回答表示で、検索タームとして指定された文字列を強調して表示する機能。   |                                  |   |
| 剥離          | ハクリ                 | 剥(は)がれてとれること。また、剥がしてとること。「網膜が する」   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)               | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>             |
| 発想支援システム    | ハツウシエンシ<br>ステム      | 発散的思考、収束的思考、アイデア結晶化までの人間の創造的問題解決プロセスを支援するコンピュータシステム   | ナレッジサイエンスホームページ(北陸先端科学技術大学院大学監修) | <a href="http://www.kousakusha.com/ks/index.html">http://www.kousakusha.com/ks/index.html</a>         |
| 発明の詳細な説明    | ハツメイノショウ<br>サイナセツメイ | 明細書の一部。発明の内容を理解して再現できるように、特許法第36条第4項及び特許法施行規則第24条の2の規定に従い、明確かつ十分に記載する必要がある  | 産業財産権標準テキスト特許編(団法人発明協会)          |   |
| パテントファミリー   | パテントファミ<br>リー       | Patent family, 内外国を通じて、少なくとも一つの共通の優先権を持ち、技術内容が完全又は部分的に一致する関係を有する特許文献群。  | 特許実務用語英和辞典電子版(特許庁技術懇話会)          | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>           |
| パテントマップ     | パテントマップ             | Patent map, 特許出願状況を調査分析してグラフ又は表にしたもの。技術開発の方向性の検討や新規事業戦略に有効。   | 特許実務用語英和辞典電子版(特許庁技術懇話会)          | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>           |

| 用語             | 読み            | 意味  | 出所                      | 出所 URL  |
|----------------|---------------|---|-------------------------|---|
| PATOLIS        | パトリス          | 平成13年4月より株式会社パトリスが提供するオンライン特許情報検索システム。昭和54年4月にJAPATICがサービスを開始し、昭和60年8月からJAPiOが提供していた。本システムは、日本特許・実用新案、意匠、商標、審判、登録、INPADOCデータ等のデータベースを有し、また、サービスは(1)検索サービス、(2)照会サービス、(3)パテントファミリーサービス、(4)番号リストサービス、(5)コード表参照サービス、(6)オフライン出力サービス、(7)ファクシミリ出力サービス、(8)CD-R OM運動ファイル転送サービス、(9)Fiデータサービス等がある。   | 特許実務用語英和辞典電子版(特許庁技術懇話会) | <a href="http://www.tokugikon.jp/dic/index.html">http://www.tokugikon.jp/dic/index.html</a>     |
| PubMed         | パブメド          | PubMed は、National Institutes of Health (NIH) 内の National Library of Medicine (NLM) における National Center for Biotechnology Information (NCBI) によるプロジェクトです。医学文献からの引用文にアクセスしたり、出版社サイトにあるフルテキスト・ジャーナルにリンクするための「検索ツール」として、医学書出版社との提携により運営されています。   | MEDLINE 日本語ゲートウェイホームページ | <a href="http://www.healthy.pair.com/overview.htm">http://www.healthy.pair.com/overview.htm</a> |
| PAJ            | ピーエージェー       | Patent Abstract of Japan. 独立行政法人工業所有権情報・研修館が発行する公開特許公報の英文抄録及びデータ  |                         |   |
| PDF            | ピーディーエフ       | Portable Document Format. 特定のプラットフォームに依存せずに表示できる文書を実現するために開発されたドキュメントフォーマット。Adobe 社により開発された。この PDF を利用すれば、各種文字修飾や段組処理など、従来は特定アプリケーションに依存しなければ扱えなかった文書を、さまざまなプラットフォームで表示できるようになる。Adobe 社は、この PDF フォーマットの文書を表示するためのソフトウェアとして、Acrobat を各プラットフォーム向けに発表している。また最近では、Netscape Navigator 用の Plug-in として機能できる Acrobat Reader が発表され、WWW ブラウザの中から、PDF フォーマットの文書を表示できるようになった (Microsoft Internet Explorer 向けの Acrobat Reader も提供されている)。 | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー) | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                               |
| ビジュアルイズ        | ビジュアルイズ       | visualize, 目に見えるようにする; ありありと心に描く。   | 『EXCEED 英和辞典』(株式会社三省堂)  | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |
| フェロー           | フェロー          | (1)仲間、同輩。<br>(2)(英米の大学で)特別研究員、特待校友。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)      | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |
| 物質構造検索         | ブシツコウソウケンサク   | 分子式や構造図などから検索する機能   |                         |   |
| プライベート・サーバサービス | プライベートサーバサービス | DocuPat   |                         |   |

| 用語       | 読み          | 意味   | 出所                      | 出所 URL  |
|----------|-------------|--|-------------------------|---|
| ブラックボックス | ブラックボックス    | (1)電気回路や機械、生物的な系などについて、その内部構造は問題にせずに、その機能、あるいはそれに対する入力と出力の関係だけが考察の対象とされるような過程、あるいは、その装置。<br>(2)俗に、使い方がわかかっていて、動作原理のわからない装置のこと。<br>(3)フライト-レコーダー。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)      | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| フルテキスト検索 | フルテキストケンサク  | full-text search。検索用のためなどにあらかじめ設定された一部のインデックスだけでなく、文書中のあらゆる文字列から目的の文字列を検索すること、またはそれを可能にする機能。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー) | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |
| フレーズ検索   | フレーズケンサク    | スペースを含む用語によるテキスト検索   |                         |   |
| フローチャート  | フローチャート     | flow chart。流れ図。システム設計やプログラミングの段階で、作業や処理の手順を、処理や判定を示す記号と、流れを示す矢印などを使って図示したもの。性能などの問題で、ディスプレイ表示を利用したプログラム開発が困難だった時代には(この当時、プログラミストはプリントアウトするのが常だった)、このフローチャートを作成して、机上でプログラムロジックの確認を行なったものだが、現在ではコンピュータの性能が上がり、プログラムは常に端末に向かって作業するようになった。プログラム開発ツールも時間とともに洗練され、GUIなどを用いたプログラム開発が可能になったが、プログラミングの現場では、現在でもフローチャートは根強く使われている。フローチャートには、そのレベルに従って、システムチャート、プロセスチャート、プログラムフローチャートなどの区別がある。また、これら各チャートの標準的な記述方法は JIS で定められている。 | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー) | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |
| 分子式検索機能  | ブンシシケンサクキノウ | 分子式から検索する機能  |                         |   |
| ベースライン   | ベースライン      | フォントのもつ属性(メトリクス)のひとつ。フォントの各文字のデザインを統一するための仮想の基準線のこと。行送りの基準にも使われている。それぞれの文字の下端(ただし p のしっぽの部分などは除く)が沿う仮想的な直線。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー) | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |
| 弁理士      | ベンリシ        | 弁理士法に基づき、特許・意匠・商標などに関する手続きの代理や鑑定を行う者。  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)      | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| ポータルサイト  | ポータルサイト     | ポータル(portal)は本来、「入り口、玄関」といった意味の英単語。転じて、インターネットブラウザを立ち上げたときに最初にアクセスするウェブページを指すようになった。現在、ポータル市場はし烈な勢力争いが繰り広げられており、キーワード検索機能やさまざまな情報を統合して提供するものが多い。また、注目の電子商取引サービスやインターネット上でのオークションなど、新たなサービスの導入も目立っている。  | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー) | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                         |

| 用語      | 読み      | 意味   | 出所                       | 出所 URL  |
|---------|---------|--|--------------------------|---|
| ボキャブラリー | ボキャブラリー | 語彙(ごい)。<br>(1)(vocabulary) ある一つの言語体系で用いられる単語の総体。言語体系をどのように限るかによって、内容が変わる。日本語という限り方をすれば、日本語の単語全体を意味し、漁村・農村あるいは特定の職業など、ある領域に限れば、その領域内で使われる単語の全体を意味し、ある個人に限れば、その人の使う語の総量を表す。<br>「漱石の 」 「 が豊富だ」<br>(2)単語を集め、一定の方式に従って順序立てて並べたもの。解釈の付けられているものが多い。<br>「近松 」  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)       | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |
| ミスマッチ   | ミスマッチ   | 適合しないこと。不釣り合い。不似合い。<br>「求人企業と求職者の 」  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)       | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |
| 明細書     | メイサイショ  | 発明の内容を詳しく記載した書面(願書に添付する)   | 産業財産権標準テキスト特許編(社団法人発明協会) |   |
| MEDLINE | メドライン   | MEDLINE (MEDlars onLINE) とは、National Library of Medicine (NLM) が誇る医療文献データベースのことで、取扱分野は、薬品、介護、歯科系、ヘルスケアなど多岐に渡ります。米国をはじめ、他の70ヶ国で出版された、3,800誌を超える最新の生物医学系ジャーナルからの引用文や要約が収められています。1966年以降の約860万件のデータをすべて含み、収録範囲は世界中にわたりますが、ほとんどは英語によるものか、英語の要約が添えられています。MEDLINE内の各記録は、MEDLINE UID (MUID in PubMed)という独自ID番号で見分けられます。文献の引用文は、National Library of Medicine, International MEDLARS partners, また協賛の医療専門団体により作成されます。MEDLINEのデータは毎週PubMedへ更新され、PubMed独自のID番号(PMID)が付与されます。 | MEDLINE 日本語ゲートウェイホームページ  | <a href="http://www.healthy.pair.com/overview.htm">http://www.healthy.pair.com/overview.htm</a> |
| メンテナンス  | メンテナンス  | システムの保守作業一般を指す言葉だが、Macintoshのようなパーソナルコンピュータでは、データのバックアップや不要なファイルの整理、ハードディスクのフラグメンテーションの解消などが中心になる。LANを構築している場合は、アドミニストレータや専門の業者による定期的なメンテナンスが必要になる場合が多い。   | アスキー デジタル用語辞典(株式会社アスキー)  | <a href="http://yougo.ascii24.com/">http://yougo.ascii24.com/</a>                               |
| モチベーション | モチベーション | (motivation) [心] 生活体を行動へ駆り立て、目標へ向かわせるような内的過程。行動の原因となる生活体内部の動因と、その目標となる外部の誘因がもととなる。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)       | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |
| 揺れ      | ユレ      | 1)ゆれること。ゆれる程度。動揺<br>「心の 」 「 が大きい」<br>(2)一つの言語において、ある語が同一時期に、語形・発音・アクセント・語法・表記などの面で、二つの形あるいは言い方が共存して用いられている現象。例えば、「にほん」と「にっぽん」、「フィルム」と「フィロム」、「十分」と「充分」、「様子」と「容子」などの類  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)       | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a>       |



| 用語        | 読み           | 意味  | 出所                        | 出所 URL  |
|-----------|--------------|---|---------------------------|---|
| 要約        | ヨウヤク         | 要約とは、発明または考案の概要を平易な文章で簡潔に記載したものであり、一般の技術者が特許文献の調査の際に、その発明や考案の要点を速やかにかつ的確に判断できるように記載したものです。要約は、発明または考案の名称および選択図と共に公報のフロントページに掲載されます。 | 特許庁ホームページ                 | <a href="http://www.jpo.go.jp/indexj.htm">http://www.jpo.go.jp/indexj.htm</a>             |
| リーガルステータス | リーガルステータス    | 審査経過情報  |                           |   |
| LINUX     | リナックス        | 1991年にフィンランドのヘルシンキ大学の大学院生(当時)Linus Torvalds氏によって開発された、UNIX互換のOS。その後フリーソフトウェアとして公開され、全世界のボランティアの開発者によって改良が重ねられた。(続きあり)               | IT用語辞典 e-Words(株式会社インセプト) | <a href="http://e-words.jp/">http://e-words.jp/</a>                                       |
| 類義語       | レイギゴ         | 同一の言語体系のなかで、語形は異なっても意味の似かよった二つ以上の語。「ホテル」と「旅館」と「宿屋」、「あがる」と「のぼる」、「きれいだ」と「うつくしい」などの類。広義では「同義語」も含まれる。類語。                                | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)        | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| レシプロ      | レシプロ         | (reciprocating engine の略)ピストンがシリンダー内を往復運動する構造のエンジン。ピストン-エンジン。往復機関。  | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)        | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |
| 連想の情報学    | レンソウノジョウハウガク | 人間が、ひとつの言葉から無意識のうちにいくつかの関連する単語を思い浮かべるように、多くの情報から関連性の高い情報を抽出する技術を研究すること  |                           |   |
| ロジック      | ロジック         | (1)論理。議論のすじみち。<br>(2)論理学。   | 『大辞林 第二版』(株式会社三省堂)        | <a href="http://dictionary.www.infoseek.co.jp/">http://dictionary.www.infoseek.co.jp/</a> |







独立行政法人 工業所有権情報・研修館  
National Center for Industrial Property Information  
and Training